

まちづくりマーケティング

第13回
2016年1月12日

まちを正しく知る

まちの活動を正しく知る

⇒客観的事実に基づく

データ

エビデンス(客観的事実)

CF: 社会調査法

会計: 企業が元気かを客観的に捉える

まちも企業のように会計制度を導入すべき!

行政の統計データ

大分市のすがた(人口・世帯)



- ・大分市の統計データ
- ・他の市町村との比較ができる。

行政の統計データ

- ・商店街の売り上げは?
- ・大在の人口は?
- ・土地の価格は?
- ・インフラは?
- ・県外転出の要因は?
- ・過疎高齢化の要因は?

- ・データが集計されているので要因を分析することができない

PDCAサイクル



- ・Plan-計画 Do-実行 Check-検証 Action-改善

従来 of 社会調査

・衆議院選挙では、どの政党に投票しますか?

- ・その政党を選んだのか理由がわからない。
- ・消費税? 景気? Etc → 追加の質問が必要

・JRおおいたシティができれば訪れますか?

- ・多くの人は、行きたいと答えるだろう。
- ・できれば、本当に行くのだろうか?
- 「その人」が本当に行ったかどうかを確かめるのは難しい

従来 of 社会調査の問題点

- ・因果関係を探る形での調査デザインが行われていない。



- ・従来 of 社会調査では、回答した結果の原因がわからないことが多い。

モデル化

- ・仮説を説明するモデルを作る
- ・現状を分析する
- ・政策変数の追加と変更によって、政策を実行したときの効果を予測する